

## 記入にあたってのQ&A

### 【様式－1～3 に関して】

- Q1 責任者は誰で回答すべきか  
A 押印いただく方は環境部門または品質部門の長の方でお願いします。
- Q2 環境負荷物質とは何か  
A 当社化学物質管理指針で定める「使用禁止物質」及び「使用削減物質」を「環境負荷物質」と定義しリストアップしています。
- Q3 重金属の実測はしていないが・・・  
A 様式－2「特定重金属の含有量調査 回答表」には、重金属の測定値があれば記入してください。計算値や推定値の記載でも結構です。分析は必須ではありません。ただし、実測値がない場合でも「原材料に使用しておらず含有の可能性はないと考える」等、何らかのコメントを必ず記載してください。
- Q4 様式－3「納入品に含まれる化学物質に関する保証書」は事業所単位での提出か  
A そうです。  
3項で事業所毎のRoHS規制物質使用履歴に関する設問を設けており、事業所ごとの提出としていただきたくお願いします。
- Q4 RoHS規制6物質の分析をしておらず、様式－3の不含有保証はできないが・・・  
A PBB、PBDEはプラスチック等の難燃剤として使用されるもので、通常意図的に使用しない限り検出されるものではありません。また、事業所内で他に取扱っていない限り、混入の可能性もないと考えられます。  
カドミウム、鉛、水銀、6価クロムは無機系の原材料から非意図的に混入してくる可能性が否定できませんが、多くの場合無機材料メーカーは含有量のデータを持っています。  
また通常の有機原料には意図的に使用しない限り検出されないか、または検出されても極めて微量(数ppm～ppbのレベル)で、RoHSの閾値を越える可能性は極めて少ないと考えられます。  
以上のことから、6物質の意図的使用がなければ、分析値がなくても保証いただけると考えています。  
尚、「保証できない」旨回答いただいた場合には、電気・輸送機業界向けの当社製品の原材料に使用することは原則不可となります。また、その他の業界向けにも使用が限定される可能性があります。

### 【原料納入仕様書に関して】

- Q5 P13－8「組成と化学物質登録No」はどのように書けばよいか  
A 組成(化学名及び化学式または構造式) :  
意図的に配合/生成した成分は量の多少に関わらず全て記入してください。  
化審法、PRTR法、毒劇物法、安衛法の規制物質は、物質名と含有量(有効数字2桁)を記入してください。  
不純物情報 :  
1%以上含有する不純物(副生物、残存物、未反応物、キャリアオーバー成分等)はすべて記載してください。  
発ガン物質、化審法・毒劇物法・安衛法等国内法により規制されている物質、米国OSHA・ACGIH等海外主要国の法により規制されている物質、発ガン物質については0.1%以上含有する場合必ず記載してください。  
上記成分の含有量が合計100%になるように記載してください。  
P13－6～7に記載基準を記載しています。
- Q6 P13－9で、重金属の含有量を分析していないが・・・  
A 分析は必須ではありません。原料分析値からの計算値、推定値でも結構です。  
これらのデータがない場合は、工程等から推定して含有の可能性を記載してください。  
必ず何らかの記載をして提出してください。
- Q7 P13－11欧州規制の項、適合か不適合かわからない  
A 意図的に使用しておらずかつ含有量が閾値未満であれば「適合」です。  
即ち、様式－3「納入品に含まれる化学物質に関する保証書」で保証いただける場合は「適合」となります。  
意図的に含有させている場合は量の多少に関わらず「不適合」、非意図的ではあるが閾値以上に含有している場合は「不適合」となります。

以上

# 記入例

2010 年 7 月 12 日

内に記入または  にチェックを入れてください

## 環境負荷物質の含有調査 回答表

対象製品名	ABC-1234
メーカー名	〇〇化学株式会社 △△工場

三洋化成使用欄

上記対象製品(化学品においてはその容器・包装材を含む)について、環境負荷物質リストVer.2 別表-1に記載の物質の含有調査結果を下記のように回答します。

チェック欄	調査結果
1 <input type="checkbox"/>	含有しない(意図の使用または意図の生成がなく、かつ混入・副生がないと考えられる)。
2 <input type="checkbox"/>	意図的使用または意図の生成はあるが、蒸留やろ過、化学反応等工程で除去されたりされたりして、製品中には残存しないと考えられる。
3 <input checked="" type="checkbox"/>	製品中に意図的に含有しないが、非意図的な混入・副生があり製品中に残存すると把握している。
4 <input checked="" type="checkbox"/>	意図的に使用し製品中に含有している、または化学反応で意図的に生成させており製品中に含有している。

該当する箇所は口内をクリックしてVを入れてください。3項、4項にチェックを入れた場合は<含有状況表>に内容を記入してください。  
含有の判断は基準書8ページの含有判定のフローチャートに沿って判断

下記含有状況表に記入してください。

### <含有状況表>

含有状況	物質No	物質名	含有部位	含有量	単位	分析法	検出限界	備考
3	V21-085	ベンゼン	化学品中	100	ppm	1	5ppm	
3	V21-026	トリフェルス <sup>®</sup> 化合物	化学品中	50	ppm	6	1ppm	原料からの推定
4	V22-012	ホルムアルデヒド <sup>®</sup>	化学品中	0.2	%	6	10ppm	比色法
4	V22-004	鉛化合物	ドラムの外装塗料	1.5	%	4	100ppm	

①-⑦に従って記載してください。  
検出されなかった場合、必ず検出限界値を記載してください。

- ① 含有状況は、チェック欄の数字を記入してください。
- ② 物質No、物質名は、別表-1 記載の物質No、物質名を記載してください。
- ③ 含有部位は、対象製品のどこに含有されるかを記載してください。(例: 化学品中、ドラム缶塗料、ラベル接着剤 等)
- ④ 含有量および単位(%、ppm等)を記入してください。実測していない場合は推定値または理論値でも結構です。
- ⑤ 実測した場合、その分析方法を下記から選んで番号を記入してください。
  - 1 ガスクロマトグラフィー (GC)
  - 2 ICP
  - 3 原子吸光 (AA)
  - 4 X線解析
  - 5 液体クロマトグラフィー (LC)
  - 6 その他(備考欄に具体的に記入してください)
- ⑥ 実測した場合、検出限界を記入してください。
- ⑦ その他特記事項があれば記載してください。

当該対象製品(化学品についてはその容器・包装材を含む)は、上記<含有状況表>に記載するものを除き、環境負荷物質リストVer.2 別表-1 記載の物質を含有していないことを保証します。  
また、材料や工程の変更等で本回答書の内容に変更が生じる場合には事前に書面で報告します。

貴社名	: 〇〇化学株式会社 △△工場
部署名	: 環境品質保証部
責任者名	: 部長 山〇男 印
TEL	: 012-345-6789
FAX	: 012-345-6899
E-Mail	: abc@def.co.jp

責任者は原則として、環境部門か品質部門の長の方としてください。  
電子データとともに責任者押印のもの(書面またはPDFファイル)を提出してください。

(様式-2)

三洋化成工業株式会社 宛

2005 年 7 月 12 日

記入例

内を記入してください

### 特定重金属の含有量調査 回答表

調達品名	ABC-1234
メーカー名	〇〇化学株式会社 △△工場

三洋化成使用欄

上記調達品について、環境負荷物質リストVer.2 別表-2に記載の特定重金属の含有量調査結果を、下記のように回答

#### [I] 含有量測定結果(化学品)

物質No	物質名	含有量	単位	分析法	検出限界	備考
1077	カドミウム	0.1>	ppm	1	0.1ppm	
2054	鉛	20	ppm	6	—	使用原料からの推定値
1078	水銀	0.01>	ppm	2	0.01ppm	
1075	6価クロム (下記⑤参照)	0.5>	ppm	1	0.5ppm	ただし総クロムとして

①-⑥に沿って記入してください。  
実測された場合、必ず測定限界を記入してください。

\* 調達品が化学品の場合、(様式-1)での調査結果に関わらず、含有量を金属分として記入してください。

\* 調達品が容器・包装材料の場合は、本回答書の提出は不要です。

- 含有量および単位(%、ppm等)を記入してください。
- 定量値が検出限界以下の場合、NDとは記さずに、検出限界が0.10ppmならば例えば「0.10ppm>」のように記載してください。
- 分析法は下記から選んで番号を記入してください。
 

1 ICP	4 イオンクロマトグラフィー
2 原子吸光 (AA)	5 比色法
3 X線解析	6 その他(備考欄に具体的に記入してください)
- 実測した場合、検出限界を記入してください。  
原材料等からの計算値や推定値の場合、その旨を備考欄に記入してください。
- 意図的に含有せず6価クロムの測定が難しい場合、総クロムで測定しても可。その場合は備考欄に「総クロム」と記載してください。
- その他特記事項があれば備考欄に記入してください。

貴社名	: 〇〇化学株式会社 △△工場	責任者は原則として、環境部門か品質部門の長の方としてください。 電子データとともに責任者押印のもの(書面またはPDFファイル)を提出してください。	
部署名	: 環境品質保証部		
責任者名	: 部長 △山〇男		印
TEL	: 012-345-6789		
FAX	: 012-345-6899		
E-Mail	: abc@def.co.jp		

(2010.7.12改訂)

三洋化成工業株式会社 御中

### 納入品に含まれる化学物質に関する保証書

#### 記入例

セルの  部分を記入してください

年月日:	2010年7月12日
会社名:	〇〇化学株式会社 ××工場
責任者:	環境品質保証部長
部署:	環境品質保証部
役職:	部長
氏名:	〇山△男 印

1. 当社は、貴社に納入する納入品(表-2)中に、表-1に記載されるRoHS規制化学物質が含まれないことを保証します。

なお、上記にいう「含まれないこと」とは、各納入品における各対象化学物質の含有濃度が表-1記載の閾値未満であることをいいます。

当社に納入いただいている商品の製造工場ごとに記載してください。

表-1：対象化学物質およびその閾値 [ RoHS指令(2002/95/EC) \* ]  
\* 電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令

対象化学物質	閾値
カドミウムおよびその化合物	100 ppm
鉛およびその化合物	1,000 ppm
水銀およびその化合物	1,000 ppm
六価クロム化合物	1,000 ppm
PBB	1,000 ppm
PBDE	1,000 ppm

責任者は原則として環境または品質部門の長の方でお願いします。

電子データとともに責任者押印のもの(書面またはPDFファイル)

PBB: ポリ臭素化ビフェニル  
PBDE: ポリ臭素化ジフェニルエーテル

表-2: 保証いただける納入品

ABC-1234
BCD-2345

当社に納入いただいている商品名について記入してください。

2. 上記保証ができない納入品は表-3の通りです。

表-3: 保証いただけない納入品

品目	理由
EFG-3456	鉛化合物を意図的に1.0%含有するため

貴事業所(工場)内での取扱状況を記載してください。

当社向け商品であるかどうかに関わらず、原材料として使用していたかどうかで判断してください。

3. RoHS規制物質の当社事業所内での使用履歴は以下の通りです。

対象化学物質	使用履歴*	全廃(予定)時期	廃止計画の有無
カドミウムおよびその化合物	2	1980年6月	有り・無
鉛およびその化合物	1	2006年3月	有り・無
水銀およびその化合物	3	年 月	有り・無
六価クロム化合物	2	1990年9月	有り・無
PBB	4	年 月	有り・無
PBDE	3	年 月	有り・無

使用履歴 \* 1: 現在も使用している 2: 過去に使用していたが全廃した 3: 使用したことがない 4: 把握していない

以上

環境・化学物質管理調査票(原料、容器・包装材、委託品、購入製品関係)

記入例

内を記入してください。コンボボックスは選択肢の中から選択してください。

会社名、事業所	ABC株式会社		回答年月日	2010/6/30
回答者	部署名	環境管理部		
	役職	部長	ご氏名	〇山×男
	連絡先	E-Mail	abc@abc.co.jp	TEL

1. 環境マネジメントシステム(EMS)、化学物質管理システム(CMS)、品質マネジメントシステム(QMS)、グリーン調達状況

管理システムの状況	開始時期
EMS *1	ISO14001認証取得済
CMS *2	その他の会社のパートナー・CMS認定済
	認定会社
QMS	ISO9001認証取得済
グリーン調達	生産材を対象に実施

コンボボックスの部分は選択肢の該当部分をクリックしてください。

\*1 ISO14001以外の主なEMS:エコアクション21、KES(京のアクション21フォーラム)など  
 \*2 Sonyグリーンパートナーのほか、電機系企業等がグリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI)様式のチェック項目をもとに、自社基準を設けて調達先の化学物質管理状況を監査し認定している。禁止物質が製品に含有されないことを保証する社内体制を整え運用していることが求められる。  
 JGPSSI URL http://www.jgpssi.jp/

2. 下記設問に、5点評価で評価点を記入してください。

目安: (5: 取り組んでおりほぼ実践している、3: 取り組んでいるが十分でない、1: これから取り組む、0: 非該当)

No	設問	回答
①	地球温暖化防止、省エネルギー活動に取り組んでいる	5
②	省資源、廃棄物削減、リサイクル向上に取り組んでいる	5
③	PRTR法等に基づき化学物質の排出・移動量を把握し低減に取り組んでいる	5
④	大気、水質、土壌等への汚染防止に取り組んでいる	5
⑤	生物多様性に資する活動に取り組んでいる	1
⑥	環境負荷低減に配慮した製品を開発、提供している	0
⑦	化学物質に関する法規制の内容を把握し、遵守している	5
⑧	当社を含め、顧客の環境要求(EMSの構築、禁止・削減物質の含有禁止等)を把握し管理している	4
⑨	化学物質に関し、自社の管理基準(使用禁止、削減、管理など)を定めている	4
⑩	調達先、外注先に自社の管理基準や顧客要求を提示している	3
⑪	原材料の含有化学物質情報を調達先から入手し、自社及び顧客の要求に適合することを確認している	4
⑫	調達先、外注先の化学物質管理の体制や運用状況を評価している	3
⑬	製品製造時、充填時に汚染・混入防止措置をとっている	5
⑭	原材料、製造工程、製造場所・設備を変更する場合、顧客に連絡する手順を定めている	3
⑮	不具合が生じた場合、当該ロットに使用した原料ロット、工程、出荷先などのトレースが可能である	4
⑯	含有化学物質に関し不適合が判明した場合、顧客に連絡する手順を定めている	3
⑰	製品に含まれる化学物質の組成と含有量を、不純物、微量成分まで把握・管理している	4
⑱	製品が顧客の化学物質管理要求に適合していることを確認している	4
⑲	含有化学物質にかかる問合せ窓口があり、依頼に対し遅滞なく提出できる	4
⑳	化学物質管理にかかる自社基準・顧客要求などを従業員に教育している	5

評価点を数値で記入してください。生産活動を行っていない場合は、0(非該当)を記入してください。

3. RoHS規制物質の使用状況

RoHS規制物質: カドミウム、鉛、水銀、6価クロム、ポリ臭化ビフェニル(PBB)、ポリ臭化ジフェニルエーテル(PBDE)

RoHS指令禁止物質を工場内で	取り扱っているが全廃予定なし	使用物質名	鉛化合物
取扱いがある場合、全廃計画や混入防止対策を	取り扱っており全廃を推進中	詳しくは	
専用設備で使用	取り扱っているが全廃予定なし		
	取り扱っていないor全廃済		
	不明		
	生産活動をしていない(商社機能)		

該当する項目を選択肢から選んでください。商社のように自社で化学物質を取り扱わない場合、「生産活動をしていない(商社機能)」を選んでください。

設問は以上です。

<評価結果>

	環境管理	化学物質管理
評価ポイント	90.4	85.0
評価ランク	AA	A

ランク	ポイント	評価
AA	90-100	管理システム優秀
A	80-90	管理システム良好
B	50-80	管理システム要レベルアップ
C	50未満	管理システム要構築

貴社の評価結果です。  
設問に回答すると評価点が表示されます。

【三洋化成使用欄】

'10-07-12制定